

ふじさわ市議会だより

FUJISAWA CITY COUNCIL NEWSLETTER



令和8年
2月定例会

No. **261**

令和8年4月25日発行

Topic

藤沢市八ヶ岳野外体験教室





藤沢市の こんなことが決まりました

2月定例会では、市長提出議案38件、議員提出議案1件を審査しました。
ここでは、一部をお知らせします。

補正 予算

議案第99号

1人5,000円分の ギフトカードを配付します

物価高騰の影響を受ける市民の経済的負担を軽減するため、全市民に1人1枚、5,000円分のプリペイド型ギフトカードを配付します。

補正額
2,683,029千円



条例 改正

議案第96号

「健康と文化の森地区」における 企業誘致を推進します

土地区画整理が進められている「健康と文化の森地区」において、大学連携事業および研究開発事業を行う企業に税制上の支援措置を行うために、既存の支援制度を見直し、所要の改正を行います。



補正 予算

議案第100号

避難所のトイレ環境を 整えます

避難所における快適なトイレ環境を整えるため、自動ラップ式トイレやトイレカーを整備します。また、トイレカーは、被災自治体から要請があった際に迅速に提供できるようにします。

補正額	75,868千円
-----	----------



自動ラップ式トイレ



トイレカー（イメージ）

人事 案件

教育長などが決まりました

（敬称略）

- 教育長
宮原 伸一（新）
- 人権擁護委員候補者
須田 泉（新）、
重田 博章（新）
- 藤沢市個人情報保護審査会委員
小澤 弘子（再）、齋藤 宙也（再）、
篠崎 百合子（再）、山田 峰彦（再）、
上原 拓也（新）



決議しました

イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交努力による平和解決を求める決議



米国とイスラエル及びイランは直ちにすべての軍事行動を停止すること、日本政府は、即時停戦と「法による支配」の国際秩序構築に向けて積極的な外交努力を主導することを強く求める。



本文はこちら

各会派の意見・要望



ここでは、予算に対する各会派の意見・要望の要旨をお知らせします。

市民クラブ藤沢

市民に信頼される責任ある市政運営を目指して

将来の財政需要を見据え、持続可能で効率的な市政運営を求め
る。①市職員のボランティア休暇取得拡大②避難所の従事職員の
インセンティブと参加マインドの醸成③市民に疑念を抱かせない
政務活動費の公正な運用④障がいのある方へ本市独自の表彰制度
の創設⑤実効性のあるハラスメント対策⑥国際園芸博覧会の周知
や機運醸成⑦廃食油のSAF(※1)化の推進⑧藤沢駅北口喫煙
所、受動喫煙対策⑨手話言語条例の早期策定⑩認知症に対して不
安を感じている本人・家族の気づきを促す環境づくり⑪地域子ども
の家を見守る人の処遇改善⑫学校施設を放課後に活用するタイ
ムシェア型の取り組み⑬産後ヘルパー事業の利用対象を0～1歳児
を養育する家庭まで拡大⑭リサイクルプラザ藤沢の早期
復旧⑮地域から新たな事業や産業が生まれる環境づ
くり⑯地域ポイントの創設⑰健康経営のさらなる推進
⑱駐輪場の増設⑲地域と学校が一体する防災体制の構築



民主クラブ

厳しい財政状況に対して戦略的な予算編成を

①外国人市民への差別解消に関する立法事実の収集や他自治体
条例の検証を進め「共に生きる藤沢」づくりを②スズメバチの巣
撤去業務は予算の範囲内で先着順による全額補助の導入を③終活
支援の実効性のある体制整備と丁寧な周知を④医療機関への補助
を見直し、高齢者救急医療体制の維持を⑤地域農業の未来を守る
ライスセンターは市が主導して実現を⑥外出促進バスの実証実験
を⑦特別支援教育を支える介助員の処遇改善を伴う制度の抜本的
見直しを⑧新しい認知症観に基づく施策の推進と寄り
添い型のフレイル予防を⑨大庭台墓園の新たな墓地形
態の早期実現を⑩国費による小学校給食費無償化実現
による財政的余力を子育て施策の深化につなげること



湘風維新無所属の会

持続可能な財政運営の確立に向けた行政改革

①市内事業者への発注拡大など適切な公共調達で地元企業の育
成と活用の強化を②旧辻堂市民センター跡地の活用には長期間の
活用アイデアも市場調査対象に③ペット同伴の避難所における実
効性ある訓練の実施を④藤沢市地球温暖化対策実行計画目標達成
には市民の知見を生かしタイムリーな情報共有を⑤資源協力金廃
止後も集積所管理を継続する自治会町内会への配慮を
⑥湘南ライフタウンなど人口減少地域への明確な政策
展開を⑦遠藤葛原線の早期整備を⑧ウルトラセブンの
デザインマンホール設置で魅力向上を



藤沢市公明党

全ての市民が安心して暮らせるまちづくりを

①経営意識を浸透させ持続可能な市政運営を②避難共助システ
ム導入を③平和宣言の発信を④地域に応じたデジタルデバインド対
策を⑤金メダリストによる交通安全講話を⑥中学校での地域安全
マップ作成を⑦迷惑電話防止機能付電話機購入補助の拡充を⑧終
活支援相談窓口の周知工夫を⑨部局横断的にデータを
活用しフレイル対策を⑩地域猫の去勢手術補助の継続
を⑪安定した火葬体制確保を⑫リチウムイオン電池の
危険性の周知を⑬観光地域づくり法人の設立を



アクトティブ藤沢

みんなの学校へ！種蒔くなら198億円価値あり

198億円OUR Project(※2)が人集う種蒔く複
合施設なら、老朽化進む学校も地域と共生を図る再整
備へ転換を。不透明ないじめ調査を寝屋川方式に。



日本共産党藤沢市議会議員団

税金の使い方を換え、大型開発見直し・福祉くらし優先に

①村岡新駅など大規模事業は中止を含め抜本的見直しを②ヘイ
トスピーチを規制する条例制定を③小学校給食費無償化に当たり
アレルギーなどで給食を食べられない児童に実費相当の支給を④
フリースクール運営者へ補助を⑤スズメバチの巣撤去
業務の全面復活を⑥市民農園廃止は見直しを⑦湘南な
ぎさ荘・やすらぎ荘の建て替え存続を⑧国保料は1人
3万円以上引き下げを⑨窓口業務の民間委託は見直しを



無所属藤沢

次世代につけを回さないために市長が決断を

令和9年度に市の貯金が枯渇しそう。一部の声の大
きな方々や団体の意見ばかり聞かず、将来世代のため
に、既得権益者の反発が起こるような歳出削減策を。



用語説明

(※1) SAF…廃食油、木くず、古紙などを主な原料として製造された持続可能な航空燃料。

(※2) OUR Project…藤沢市民会館などの建て替えに併せて近隣公共施設などの複合化、周辺地域の内水浸水対策施設の整備を行う事業。

予算を審査

こんな質問がありました



1 補助金の見直し



- Q** 厳しい財政状況の中、選択と集中の視点を持って、補助金の見直しを行うべきでは。(湘風維新無所属の会)
- A** 令和7年度に行った民間事業者による業務分析の結果を踏まえ、学識経験者などで構成される藤沢市行財政改革協議会で議論するとともに関係部局と連携しながら検討していく。

2 防災士資格取得の補助制度を



- Q** 防災士資格取得の補助制度を設け、地域の担い手を増やしていくべきでは。(市民クラブ藤沢)
- A** 地域の防災力強化のために課題などを整理し、現在、自主防災組織に対して行っている補助制度の中で、資格取得に対する補助を検討していく。

3 ポッドキャストの活用

- Q** 市の広報番組として、あえてポッドキャストを始める理由を聞きたい。(湘風維新無所属の会)
- A** 市民の多様な生活スタイルに合わせた情報取得手段の変化に対応するために、これからは新たな媒体を組み合わせた重層的な情報発信が必要と考えている。

4 犯罪機会論をまちづくりに活用

- Q** 立正大学小宮教授の犯罪機会論を体得することで、魅力あるまちづくりへ活用しては。(藤沢市公明党)
- A** 本市職員や市民に対して、小宮教授の犯罪機会論の講義をしていただき、体得することで、犯罪に強い斬新な魅力あふれるまちになるための取り組みを進めていきたい。

5 ケアラー支援協議会の取り組み

- Q** 令和8年度のケアラー支援協議会ではどのような取り組みをしていくのか。(市民クラブ藤沢)
- A** ケアラーの理解や知識を得ていただくため、支援者向け研修を行い、市民に対しては、つながらりサポーター養成講座や出前講座で周知していく。内容は、同協議会に諮っていく。

6 コミュニケーション条例の検討

- Q** 手話言語条例もしくはコミュニケーションに関連する条例制定の検討について聞きたい。(市民クラブ藤沢)
- A** 先行自治体の事例などの情報を収集し、具体的な内容検討については、聴覚障がい者に限らず、さまざまな障がい当事者や関係団体から広く意見を聞きながら進めていく。

7 終活支援相談窓口



- Q** 令和8年度から始まる終活支援相談窓口について、具体的な内容を聞きたい。(藤沢市公明党)
- A** 本庁舎2階の福祉総合相談支援センターに相談窓口を開設し、もしもの時に備えて、市に対象者の情報を登録しておける事業を開始予定。

8 保育士確保対策



- Q** 近隣自治体との人材獲得競争が激化する中、市独自の保育士確保策について聞きたい。(民主クラブ)
- A** 待機児童数や保育事業者の意見を踏まえながら、保育資格者を増やすため試験対策講座の実施、人材確保につなげるため宿舍借り上げなどを継続拡充していく。

令和8年度予算関係議案は、予算等特別委員会において9日間にわたり審査が行われ、全て可決されました。

ここでは、質問・答弁の一部をお知らせします。

9 ケアマネジャーの負担軽減

Q ケアマネジャーの負担軽減に係る人材確保に向けた取り組みについて聞きたい。

(民主クラブ)

A ケアプランデータ連携システムの活用促進を行い、業務時間の縮減を行うとともに、ケアマネジャーの業務内容についてのパンフレットを作成し、利用者への理解を図っていく。

10 がん検診の普及への取り組み

Q がんの早期発見のために、がん検診の受診率を向上させる取り組みを聞きたい。

(日本共産党藤沢市議会議員団)

A 健康診査と併せて送付している受診券の封筒デザインを工夫することや、医療機関などに設置されているデジタルサイネージに掲載する種類を増やし、周知方法を拡大する。

11 地元企業の人材不足解消へ

Q 市内企業の人材確保に向け、支援方法は。

(民主クラブ)

A 全国的に多くの業種で人材が不足している中、令和8年度から本市単独で合同就職面接会および説明会を実施予定。チラシ配布や各種広報を通じた周知で、幅広い業種の企業を募集していく。

12 農業への興味関心を

Q 国際園芸博覧会への参加を契機とした、本市農業などへの理解促進の取り組みは。

(民主クラブ)

A 同博覧会を江の島沖海底の魅力を広める機会と捉え、海の園芸と題し出展予定である。併せて、本市の都市農業に対しても、多くの方々に理解してもらえるよう取り組む。



13 性暴力のない海水浴場を

Q 令和7年度に一部仮設トイレに設置した「かならいん」カードを8年度も設置しては。

(日本共産党藤沢市議会議員団)

A 性犯罪・性暴力の被害に遭われた方をサポートする窓口の存在を知ってもらう啓発活動は重要であるため、海水浴場組合などと連携し、カードの設置・配布を行い周知に努める。

14 経済効果の高い誘客宣伝を

Q 市内回遊性の向上や宿泊を伴う消費単価の高い観光へどのようにつなげていくのか。

(湘風維新無所属の会)

A 地域経済の活性化に寄与するイベントを開催し、新たな観光ルートの創出や市内観光の分散化、宿泊につなげるための工夫を行っていく。

15 モビリティ・ハブ

Q モビリティ・ハブについて、令和8年度はどのように進めていくのか聞きたい。



(市民クラブ藤沢)

A 湘南ライフタウンのエリアである、辻堂駅から慶應義塾大学に向かう連節バスのバス停を拠点とした、モビリティ・ハブの検討を引き続き行っていく。

16 スポーツ事業の実績と予定

Q 本市のスポーツ事業について、今までの実績と令和8年度の予定を聞きたい。

(市民クラブ藤沢)

A 藤沢市スポーツ連盟と連携したスポーツシンポジウムやデフリンピックに関する事業などを実施した。8年度は、藤沢にゆかりのある選手を応援するような事業を予定している。



代表質問



市民クラブ藤沢

栗原 貴司



持続可能な都市経営を！

Q 持続可能な都市経営には持続的な財政運営が必要となる。市民の皆さまから預かった税金であり、前例踏襲的な予算組みになっていないか、見直しを図っていくべきでは。

A 多様な行政課題に迅速に対応していく一方、事業効果が低下している事業については見直しを行い、人的・財的資源を適切に配分していく事が欠かせないものとし、現在、外部の専門的知見や分析技術を活用し業務分析を実施しているところである。今後生じる社会情勢の変化などに柔軟かつ適切な対応を図るため、事務事業の最適化を目指した取り組みを推進し、持続可能な行政運営を実現していく。

公共施設のランニングコストの削減を！

Q 本市の公共施設の中には現在、雨漏りなどの対応に苦慮している建物があると聞いている。今後も公共施設の建て替えが続くが、ランニングコストを考慮することで最適化が図られると考えるが、施設設計に対する考えを聞きたい。

A 公共施設は市民サービスを効率的に提供し、機能性や意匠性・防災性が求められている。現在でもそれらの条件を踏まえイニシャルコスト・ランニングコストの低減を検討し、トータルコストのバランスに優れた工法を選定している。今後もこれまで蓄積してきた知識と経験を生かし、公共施設の利便性を高め、長く利用可能な施設設計の最適化を図っていく。

認知症への市の積極的関与と支援を！

Q 高齢者の3.6人に1人が認知症または予備軍と言われる状況であり、早期発見・早期対応などへの支援が必要であると考えるが、市の取り組みを聞きたい。

A 本市は「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を目指し、認知症施策検討委員会や認知症サポーター養成講座、家族介護者教室の開催、本人や家族が集う場所の設置、認知症カフェの開催支援などを実施している。また、早期発見・対応に対して認知症受け入れ医療機関情報の作成や初期集中支援チームの運営、携帯電話などからチェック可能な認知症簡易チェックの提供なども実施している。

職員力を強化し行政サービス維持を！

Q 今後ますます複雑化・高度化していく市民ニーズに対応するためには職員力の強化が重要であり必要である。市の人材育成の考え方を聞きたい。

A 社会情勢や多様化する市民ニーズに対応していくためには、人材育成の推進、職員力・組織力の向上は大変重要であり、「藤沢市人材育成基本方針」においても、誠実さを持ち、柔軟に対応し、前進し続けることを本市の職員像と位置付け、人材育成に取り組んでいる。人材育成の最終目的を「市民サービスの向上」・「郷土愛あふれる藤沢の実現」として掲げ、人材育成を推進し職員力の強化に努めていく。

手話言語条例の制定を！

Q 手話言語条例の制定を行い、当事者の情報保障と手話の普及や手話の使いやすい環境整備を推進し、共生社会の実現につなげていく必要があると考える。市の考えを聞きたい。

A さまざまな障がいの特性に応じたコミュニケーションをより円滑にしていくことが、市民一人一人が自分の望む形で社会参加しやすいまちとなり「インクルーシブ藤沢」の実現に近づくものと捉えている。本市では、手話に限定せず、障がいの特性に応じた包括的なコミュニケーションに関する条例の制定に向け、当事者や関係団体などの皆さまから幅広くご意見を伺い、早期の制定を目指していきたい。

不登校児童生徒への支援の拡充を！

Q 登校はできているものの、学級に馴染めない子どもたちに対する支援は、教員や家族に対する支援につながると考える。補助制度の趣旨と併せ、市の考えを聞きたい。

A 補助制度の趣旨として、不登校・その傾向がある児童生徒の家庭に対して学校以外の環境を居場所として利用できるよう経済的負担の軽減を目的としている。また、学校が児童生徒の状況を把握できるような制度設計を行っていく。さらに校内に別室を設置し教員と学習支援員が学習・社会的自立に向けた支援にも注力しており、今後は校内教育支援センター機能を充実させ安心して過ごせる居場所を全校に広げていく。

2月定例会では、会派を代表した6人の議員が、新年度の市長の施政方針や予算案などに対し代表質問を行いました。

掲載内容は、質問および答弁内容の抜粋・要約です。全体を確認したい場合は、録画中継（2次元コードから読み込み）または会議録をご確認ください。

代表質問の内容についてのご質問は、質問を行った議員または議会局へお問い合わせください。



民生委員の負担軽減や処遇改善を！

Q 民生委員・児童委員の皆さまは地域において重要な存在だが、本市においても担い手不足は深刻化している。負担軽減・処遇改善に取り組んでいるのか聞きたい。

A 民生委員・児童委員の活動は高齢化の進展、課題の複雑化、複合化などによる負担増加に加えて、証明事務や講習会への参加なども本来の活動の妨げとなっている。そのため、本市から依頼している高齢者世帯の調査方法を見直し、さらなる負担軽減に取り組んでいる。また、他市の状況なども鑑みて研究を進めていき、国・県に対しても引き続き負担軽減に資する取り組みについて要望をしていく。

在宅避難のさらなる周知啓発を！

Q 発災時、指定避難所には全市民・観光客が避難できるキャパシティはない。そのような状況で在宅避難が重要となるが、まだまだ浸透していないと感じており、さらなる周知が必要と感じているが、市の考えを聞きたい。

A 在宅避難は避難所が密にならない分散避難につながるとともに、一定のプライバシーが確保されストレス軽減などが図られることで、災害関連死の抑制にもつながる。国も推奨し市町村に支援を図るよう求めている。さらに円滑な避難所運営にもつながることから、市内各地での防災訓練やイベントなどの機会を捉え、在宅避難の必要性を周知・啓発していく。

誰もが利用できるスポーツ環境整備を！

Q 老朽化した施設の計画的な更新・改修など、誰もが安全・安心に利用できるスポーツ環境の整備をこれまで以上に進めていくべきだと考えるが市の考えは。

A 現在、本市の主要なスポーツ施設は利用率が高く、予約が取りにくい状況に加え、施設の老朽化と財政負担が課題となっている。こうした課題対応のため、本市のスポーツ施設全体の基本構想を計画しており、既存施設の再編も視野に取り組むとともに、民間活力導入による整備など、さまざまな手法を研究し、スポーツ環境の充実を図っていく。



将来の市民も納得するまちづくりを！

Q 本市ではさまざまなまちづくりが行われ、多額のコストを費やしている。特に用途変更などを伴う健康と文化の森地区土地区画整理事業は、将来世代へ分かりやすく示す必要があるため、事業の推進における今後の取り組みを聞きたい。

A 業務代行方式による組合施行の土地区画整理事業を進めており、現在は業務代行者において、地権者と個別に事業の説明や事務的な協議調整を行っている。

本市としては、業務代行者に対しては技術的支援、地権者に対してはまちづくりの方向性や将来像について意見交換を重ね、3者が連携し、事業が円滑に推進するよう取り組む。

市民に信頼される地域の基幹病院へ！

Q 他市の自治体病院では、事業縮小・廃院などさまざまな議論があるが本市の市民病院は健全経営といっても差し支えない。今後20～30年後の長期的な視点・将来像を聞きたい。

A 開院以来、地域に必要とされる医療機能の強化に努めており、国が提唱する「将来における医療従事者の持続可能な働き方」を確保するため、タスクシフト・タスクシェアの他、働き方改革や医療DXなどの推進を図っていきたいと考える。今後も、多様化する市民の医療ニーズに対応し、地域と連携して地域完結型の医療提供体制のさらなる充実に向けて取り組み、時代の変化に対応した医療の提供に努めていく。

会議録は、図書館、文書館、市政情報コーナー（本庁舎4階）、市議会のホームページでご覧いただけます。

2月定例会の会議録は5月下旬ごろから閲覧できます。



民主クラブ

竹村 雅夫



“違い”を認め合う社会を

Q 国籍や宗教など多様なアイデンティティを持つ市民が暮らす藤沢が目指す多文化共生のまちづくりとは。

A 文化の違いやSNS上での差別・偏見などの課題が生じる中、外国につながるの市民の生活を支援するだけでなく、差別・排除のない共に生きる社会を目指しており、外国人市民会議の設置など、地域社会への参画を促進してきた。

今後も、全ての市民が地域の一員として安心して暮らすことができ、将来の地域社会に大きな可能性を持つ「多様性」が新たな価値と活力になるようまちづくりを進める。



災害時、何をすべきか分かる冊子を

Q 地域防災計画などさまざまな計画・冊子がある中で、いざという時、誰もがすぐに使える冊子が必要と考える。

A そこで、初動・避難所運営・復興などの分野別、要配慮者などの対象別、地域別の分冊などの冊子の作成をしては。

各種計画の目的や役割を整理する中で、必要性を検討していく。特に小冊子版「ふじさわ防災ナビ」は、より市民に分かりやすくなるよう見直していく。



学校は安心できる居場所

Q 不登校の生徒がいても構わないという排他的な環境とならないよう、不登校を生まない環境づくりに取り組むべきでは。

A 不登校の子どもへの対応は、喫緊の課題として重く受け止めている。不登校は、特定の個人の問題ではなく、誰にでも起こり得る問題であるとの認識のもと、未然防止に向け、学習のつまづきを解消するための授業づくりや個に応じた学習支援を継続するとともに、いじめや暴力を許さない学校づくりを推進してきた。

不登校を出さないことが目的ではなく、全ての子どもが「明日も学校へ行きたい」と思える学校づくりにまい進する。

子育て施策の充実を

Q 令和8年度から国が一律で小学校給食費無償化を実施予定だが、本市は無償化を目指し、市独自で財源を負担する予定であった。この財源は、元々子育て支援のための予算であり、他の事業に使うのではなく、子育て施策に使うべきでは。

A 非常に厳しい財政状況にある中で、全校の体育館に空調を設置するなど、将来への投資として、子育て支援および教育環境の充実を図っている。

今後も、市政運営の総合指針2028の重点事業を中心に、効果的な予算配分に取り組む。

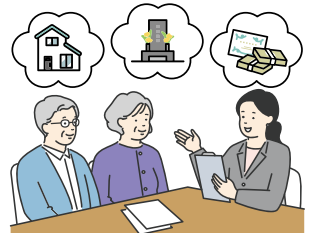


市窓口での終活相談、一層の連携を

Q 福祉分野にとどまらず、司法分野との連携の必要性を以前から指摘してきたが、具体的な取り組みは。

A 行政書士などの司法分野と連携し、適切にご案内を行うことができる体制を検討していく。

また、判断能力などの低下がみられ、日常生活に支障が生じている場合など、財産管理に関する支援が必要な際は、成年後見制度などの権利擁護支援につなぐ取り組みを行っていく。



子どもの声を施策に反映

Q 子ども施策の推進に当たり、あらゆる成長過程の子どもの意見を聴き、反映する仕組みをどのように構築するのか。

A 子どもの年齢や発達程度などさまざまな状況を考慮する必要がある中で、「ふじさわ子ども・若者委員会」や、対面での意見表明が難しい子ども・若者が参加しやすいプラットフォーム「かわせみボイス」などの取り組みを進めてきた。

多様な意見聴取の手法について検討し、子どもの意見が尊重されるよう引き続き取り組みを進める。



北部のまちづくりの整備状況は

Q 北部地区のまちづくりは、いすゞ自動車工場が進出したことで進められてきた。北部第二（三地区）土地区画整理事業（※）の取り組み状況と今後の見通しは。

A 工業系・住宅系の土地の使用収益が開始され、雇用や居住など機能的で調和のとれたまちの形成につながっている。

地区全体に安全と安心、防災機能の向上などさらなる事業効果の発現に向けて進めていく。

（※）道路、公園、下水道などの整備により、災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す事業。



持続可能な農業政策を

Q 米価の変動など農業を取り巻く環境が変化中、ライスセンターの整備が必要と考えるが、今後の取り組みは。

A 水利組合への調査の結果、ライスセンターの建設が必要との意見を多くいただいた。

今後は、建設が必要と回答した水利組合を対象に、立地場所や運営主体など実現に向けた条件整理を進めていく。

また、耕作者や地権者の皆さまの理解・協力を得ながら、水田の保全に努め、次世代につなぐという思いで農業政策に取り組む。



快適な暮らしを保障する行政サービスを

Q スズメバチの巣撤去業務は市独自の行政サービスとして、全額公費負担事業に戻すべきと考える。市の見解を聞きたい。

A 対応について検討を重ねたが、スズメバチの巣は土地の所有者や管理者に撤去していただくことが原則であることから、行政が全額負担する形での事業は予定していないが、所有者が不明な場合に、緊急対応として公費負担による撤去の対応をすることとした。今後も営巣されないための対策の周知の他、問い合わせに対しては、害虫駆除業者の団体を案内するなど丁寧な対応に努める。



日本共産党藤沢市議会議員団

柳沢 潤次



令和8年度予算

Q 令和8年度予算は、扶助費や福祉などをさらに抑制、削減することも含めて、ゼロベースで見直していくのか。市の見解を聞きたい。

A 健全財政を維持しながら本市が持続的な発展をしていくためには、客観的な分析に基づく事業の抜本的な見直しや優先劣後による事業選択など歳出構造の見直しが必要であると捉えており、8年度には、現在進めている業務分析の結果を踏まえ、見直していく。



本当に必要な抜本の見直しとは

Q 財政が厳しいなら、扶助費を抑えたり、福祉費を削減するのではなく、不要不急の道路建設など大型開発の中止を含めた抜本の見直しこそが必要と考える。市の見解を聞きたい。

A 道路建設などを含めた都市基盤整備事業は、まちの魅力の創出や市民の利便性の向上とともに、将来にわたる税収の安定化や、福祉や暮らしを充実させる諸施策の財源確保につながるものとする。これまで、扶助費などの義務的経費の他、公共施設の老朽化対策、将来的に堅固な財政基盤の構築にも資する投資事業に対して、限られた財源をバランス良く配分してきた。引き続き健全な財政運営に取り組む。

老人福祉センター廃止は撤回を

Q 老人福祉センターの廃止方針については撤回、施設存続の方向で利用者や市民との話し合いを継続することを強く求める。市の見解を聞きたい。

A 施設の老朽化、利用者数の減少や固定化、運営コストなどの課題があることから、大規模な拠点施設ではなく、より身近な地域において機能的にサービスを楽しむ方向に転換していきたい。なお、やすらぎ荘廃止の方針については、令和7年12月定例会において市議会としての判断も示されている。今後は、サークルや利用者の意見も聞きながら、それぞれが生きがいを持って過ごせるよう取り組んでいく。



湘風維新無所属の会

甘粕 和彦



本市の重点産業分野

Q

本市の重点産業分野は何を根拠に選び、地域資源・雇用・税金にどう結び付け、5年後10年後の産業構造をどう描くか。また、企業誘致と既存企業支援のバランスをどう考え、成果指標を設定しPDCAを回すのか聞きたい。

A

産業振興計画に基づき研究開発拠点や研究開発力の高い企業の集積、産学官や県連携でロボットなどの成長分野を後押しし、産業構造の変化に対応する。企業誘致と既存企業支援は、課題である市外転出を防ぐため建て替えなどの支援を進め、成果指標として事業所数や従業員数、出荷額など統計を分析して施策を見直し、地域経済の持続的発展を目指す。

教育政策の優先課題と人材の育成

Q

教育は最も長期的な投資であるが、教育政策の最優先課題は何か。また、教育投資を財政運営の中でいかに持続可能に設計していくのか聞きたい。

A

多様化社会で教員の充足など対応すべき課題は山積みだが、いずれも早急に対処しなければならないと考えている。小中学校の義務教育段階の学びの充実なくして、持続可能な誰一人取り残さない社会の実現は成し得ない。投資と持続可能性については、学びの充実とまちづくりの相関を示しながら、財政運営上の教育投資を確保していく。



湘南ライフタウンのニュータウン再生

Q

湘南ライフタウンでの団地再生とニュータウン全体再編をどう接続し、活性化と人口流入を一体設計するのか、人口構造転換を政策目的に据えるのか。また、商業機能再編に市は戦略的に関与するのか聞きたい。

A

集合住宅団地が多い特性を踏まえ住宅ストックの活用と地域活性化を一体で推進するとともに、若年・子育て世代の流入で多世代が暮らし、定住する環境を整備する。また、今後も地域の商業施設の動向を注視し、運営事業者などに対し商業施設の必要性を説明し、地域の魅力や活力の維持向上に資する機能などについて協議などを行っていく。

子育て政策とさまざまな課題への取り組み

Q

子育て政策は福祉施策の拡充にとどめず、雇用・住宅・交通の政策と連動した人口戦略として設計しているのか。また、若年世帯の転入・定住や共働き世帯の就労継続、待機児童対策や保育士確保の構造的課題をどの指標で検証しているのか聞きたい。

A

子育て支援は、児童福祉に限らず雇用・住宅・交通を含む複合的政策として設計され、藤沢市子ども・若者共育計画やまちづくりの計画に位置付け、環境形成に努めている。転入超過や共働き世帯の増加で保育需要は高く、待機児童数ゼロを目標に地区別需給バランスや施策効果を検証している。

高等教育機関との連携と人材の定着

Q

本市は大学などの知的基盤を有するが、卒業後に人材が市外流出傾向にある。インターンや産学連携、起業支援、地元就職マッチングなどの接続が弱ければ都市は知を持ちながら生かせない状態になる。若者定着を都市戦略の中心に据え、教育機関・企業・行政の連携をどう強化するのか聞きたい。

A

市内には5大学が立地するが、市内定住・就職は一部にとどまっている。在学中から市内企業と関わる機会を増やすことが重要である。学生と市内企業の接点を増やし、企業講義や実習型インターンを支援することで、市内定住・就職につながるよう大学・企業・行政の連携を強化する。

地域主導による課題解決と展望

Q

令和8年4月から本格展開となる児童の見守りサービスは、明治地区郷土づくり推進会議が源流である。この事例を踏まえ、郷土づくり推進会議の在り方と展望を聞きたい。

A

郷土づくり推進会議は長年取り組んできた住民自治を体現する全国的にも類を見ない取り組みである。また、電子回覧板事業のように時代に即したニーズや好事例については市が積極的に市全域に展開を図っている。担い手不足などの課題を含め再構築の必要性もあるが「郷土愛あふれるまちづくり」に欠かせない取り組みとして、次世代に有効な会議体となるよう、必要に応じて改善していきたい。

藤沢市公明党

平川 和美



将来世代の負担が少ない 健全な財政運営を

Q 令和8年度は約18億円の調整債が歳入に組まれているが、赤字債の要素を持ち合わせており、後年度に負担を回す借金である。どのように財政規律を引き締めていくのか。

本市の財政状況は、臨時的な歳入である多額の財政調整基金や調整債を活用しなければ経常的な事業の財源が賅っていない状況にあり、財政の硬直化が進んでいる。

A 財政規律の確保には、早期に財政的な余力を創出し、毎年度の歳入をもって歳出事業費を賅うことができる状態としていく必要があり、DXによる一層の業務効率化と行政改革の断行により、持続可能な財政運営に努めていく。

無所属藤沢

森井 健太郎



次世代につけを回さない 市政運営を

Q 市の財政状況が厳しいが、次世代につけを回さない市政運営を望む。今後も人件費や建築資材の高騰が一層財政を圧迫することが予想されるが市としての対策を聞きたい。

A 令和8年度当初予算については経常的な事業にかかる経費が市税などの歳入では賅っていない状況である。このまま何も対策を講じない場合は、9年度予算編成において財政調整基金が枯渇することが見込まれるため、将来への投資を図りつつ、現在の行政サービスを縮小するなど、身の丈に合った市政運営に転換していくことが重要であり、スピード感を持って取り組んでいく。

5歳児健診の実施を

Q 言語理解の能力や社会性が高まる時期である5歳児への健診実施は、子どもの特性の早期把握に有効である。

また、健診後のフォローアップ体制の構築も必要と考えるが、今後の取り組みは。

A 現行の仕組みを再構築する必要がある。令和8年度に乳幼児健康診査検討部会で関係機関との協働や具体的な手法の検討を進める。

10年度までのなるべく早期に実施できるよう取り組んでいきたい。



あらゆる障がい者への合理的配慮を

Q 障がい者の合理的配慮を明確に位置付けた条例は、市民が尊厳を持って暮らせる地域社会を実現するための基盤である。条例制定についての市の考えは。

A 障がいの特性に応じたコミュニケーションは、相互理解と共生社会の実現に寄与するものと捉えている。

A 現在、特性に応じた包括的な条例制定に向け、具体的な検討を進めており、当事者や関係団体などからの意見を基に、条例の方向性や内容を精査し、早期の制定を目指していく。



児童の朝の居場所づくりを

Q 地域ボランティアなどが、朝7時45分に小学校の校門を開け、児童が登校時間まで学校で過ごすことができる自治体もある。本市の検討状況は。

A 登校前の朝の居場所は一定のニーズがあると認識している。小学校内または通学路から無理なくアクセスできる施設などが望ましく、実施場所や安全管理に十分に配慮した体制構築が不可欠である。

今後は必要とされる時間帯や実施場所などを調査し、最適な支援方法を検討していく。



「観光×デジタル」で新たな観光振興を

Q 観光時にデジタルマップを活用することで、一人一人にカスタマイズされたおすすめルートを見ることができる。

A 江の島以外にも観光資源がある本市でも導入しては。

A デジタルマップは、市内周遊の促進・混雑の可視化・観光スポットの発見などをサポートする利便性の高い観光ツールである。一方、既存の交通情報アプリとの連携など整理を図る必要もあり、費用対効果を含め導入を検討していく。



常任委員会・特別委員会等の動き



委員会は、少人数の議員で構成し、議会で提出された議案や請願・陳情、市が行っている事業や計画などの審査・調査をする会議のことです。

ここでは、委員会の審査・調査内容についてご紹介します。

2次元コードを読み込むと当日の様子（録画中継）がご覧いただけます。

総務 常任委員会



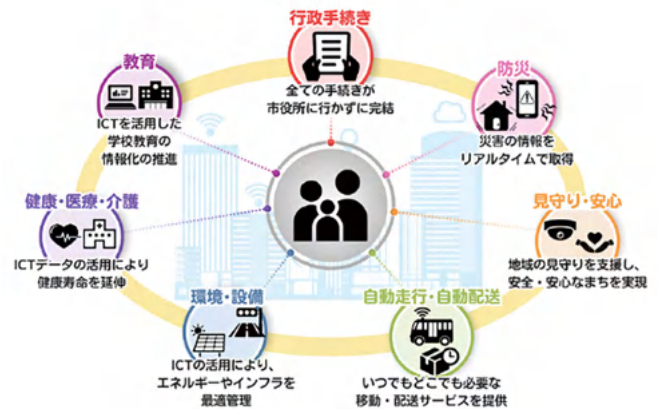
総務常任委員会は、2月20日に開催され、議案4件を審査しました。

また、①藤沢市DX推進計画の改定について（最終報告）、②公共料金の見直しについて（中間報告）の報告を受けました。

ここに注目!

藤沢市DX推進計画を改定しました

- 市民・職員・まちがデジタル化の恩恵を享受できるようなサービスを提供することで、「最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち」の実現を目指し、計画を改定しました
- 行政DXとして、「どこでも」「ピッタリ」「簡単」な「デジタル市役所」を目指すとともに、都市DXとして、デジタル技術を活用したい人への支援や、日々の生活の中でデジタル技術を活用することで「スマートシティ」を推進します



「最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち」の実現を目指す

※記載の分野などは、取り組みの例になります

厚生環境 常任委員会



厚生環境常任委員会は、2月18日に開催され、議案2件、陳情2件を審査しました。

また、①藤沢市ケアラー支援推進計画の策定について（最終報告）、②藤沢市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について（最終報告）、③リサイクルプラザ藤沢の火災対応に係る進捗状況等についての報告を受けました。

ここに注目!

リサイクルプラザ藤沢の火災対応について報告がありました

- 令和7年9月4日に発生した火災の影響を受けた、リサイクルプラザ藤沢の不燃ごみ・大型ごみの処理施設およびペットボトルなどの資源化施設の復旧に向けた進捗状況などについて報告がありました
- 復旧スケジュールの他、主に火災予防の観点から、リチウムイオン電池内蔵製品による火災リスクを低減し、火災が拡大しやすい可燃物との接触を避けるとともに、市民が危険性を正しく認識し適切に分別・排出できるよう、不燃ごみとして扱っていた品目の排出方法などの見直しを行うことが示されました

建設経済 常任委員会



建設経済常任委員会は、2月17日に開催され、議案4件、陳情2件を審査しました。

また、①藤沢市道路整備プログラムの改定について（最終報告）、②藤沢市産業振興計画の改定について（最終報告）、③西北部地域のまちづくりの取組について、④藤沢市住宅マスタープランの改定についての報告を受けました。

ここに注目!

藤沢市道路整備プログラムを改定しました

- 本プログラムは平成28年3月に策定されましたが、交通を取り巻く状況や道路整備環境は変化しており、市民ニーズなどを踏まえ、検証などを進めてきました
- 令和7年9・10月のパブリックコメントの結果も踏まえ、令和8年3月に改定しました



子ども文教 常任委員会



2月19日

子ども文教常任委員会は、1月23日と2月19日に開催され、1月23日の委員会では、藤沢市八ヶ岳野外体験教室の視察を行いました。2月19日の委員会では、議案2件、陳情3件を審査しました。

また、①藤沢市少年の森再整備事業に係る基本計画の策定について（最終報告）、②第2期藤沢市子どもの居場所づくり推進計画の策定について（最終報告）、③今後の中学校給食について、④藤沢市文化財保存活用地域計画の策定について（最終報告）、⑤藤沢市子ども読書活動推進計画の改定について（最終報告）の報告を受けました。

ここに注目!

今後の中学校給食について報告がありました

- 藤沢市中学校給食検討委員会での検討結果を踏まえ、ランチボックス形式による全員制給食を実施することとし、併せて学校給食センターの整備を進めることとしました



ランチボックスのイメージ

補正予算 常任委員会



2月16日



2月24日

補正予算常任委員会は、2月16日と2月24日に開催され、それぞれ議案1件、議案8件を審査しました。

議会運営 委員会



議会運営委員会は、2月25日に開催され、陳情1件を審査しました。

災害対策等 特別委員会



災害対策等特別委員会は、2月10日に開催され、藤沢市地域防災計画の抜本的見直しの取組についてを議題とし、審査しました。

議案等審議結果

○：賛成 ×：反対 ▲：賛否が分かれる
 -：陳情を審査する委員会（付託委員会）への委員選出なし

2月定例会に提出された議案などと審議結果は次のとおりです。

番号	件名	付託委員会	年月日	結果	各会派の賛否						
					市民ク	民主ク	湘維無	公明党	共産党	アクテ	無所属
市長提出											
79	専決処分の承認について（令和7年度藤沢市一般会計補正予算（第7号））	付託せず	8.2.16	承認							
80	財産の処分について（今田字丸山26番6ほか27筆）	予算等	8.3.18	可決							
81	市道の認定について（鵠沼967号線ほか9路線）	建設経済	8.2.27		○	○	○	○	○	○	○
82	市道の廃止について（辻堂90号線ほか4路線）				○	○	○	○	○	○	○
83	藤沢市公告式条例等の一部改正について	総務									
84	藤沢市職員定数条例の一部改正について	予算等	8.3.18								
85	藤沢市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正について	総務	8.2.27								
86	藤沢市非常勤職員の報酬等に関する条例等の一部改正について				○	○	○	○	×	○	○
87	藤沢市市税条例の一部改正について				○	○	○	○	○	○	○
88	藤沢市手数料条例の一部改正について	付託せず	8.2.16								
89	藤沢市都市公園条例の一部改正について	建設経済	8.2.27		○	○	○	○	×	○	○
90	藤沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	付託せず	8.2.16		○	○	○	○	○	○	○
91	藤沢市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	子ども文教	8.2.27								
92	藤沢市乳児等通園支援の利用可能時間に関する経過措置を定める条例の制定について				○	○	○	○	×	○	○
93	藤沢市保育所条例の一部改正について	予算等	8.3.18								
94	藤沢市国民健康保険条例の一部改正について	厚生環境	8.2.27								
95	藤沢市介護保険条例の一部改正について				○	○	○	○	×	×	○
96	藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例の一部改正について	建設経済			○	○	○	○	×	○	○
97	藤沢市学校給食費に関する条例の一部改正について	予算等	8.3.18								
98	藤沢市火災予防条例の一部改正について	付託せず	8.2.16		○	○	○	○	○	○	○
99	令和7年度藤沢市一般会計補正予算（第8号）	補正予算	8.2.27								
100	令和7年度藤沢市一般会計補正予算（第9号）			○	○	○	○	×	○	○	
101	令和7年度藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）			○	○	○	○	○	○	○	
102	令和7年度藤沢市墓園事業費特別会計補正予算（第2号）			○	○	○	○	○	○	○	
103	令和7年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第2号）										
104	令和7年度藤沢市介護保険事業費特別会計補正予算（第2号）			○	○	○	○	×	○	○	
105	令和7年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計補正予算（第2号）										
106	令和7年度藤沢市下水道事業費特別会計補正予算（第3号）			○	○	○	○	○	○	○	
107	令和7年度藤沢市民病院事業会計補正予算（第3号）			○	○	○	○	○	○	○	
108	令和8年度藤沢市一般会計予算										
109	令和8年度藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業費特別会計予算	予算等	8.3.18	○	○	○	○	×	○	○	
110	令和8年度藤沢市墓園事業費特別会計予算			○	○	○	○	○	○	○	
111	令和8年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計予算			○	○	○	○	×	○	○	

番号	件名	付託委員会	年月日	結果	各会派の賛否						
					市民ク	民主ク	湘維無	公明党	共産党	アクテ	無所属
112	令和8年度藤沢市介護保険事業費特別会計予算	予算等	8.3.18	可決	○	○	○	○	×	○	○
113	令和8年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計予算				○	○	○	○	×	○	○
114	令和8年度藤沢市下水道事業費特別会計予算				○	○	○	○	○	○	○
115	令和8年度藤沢市民病院事業会計予算				○	○	○	○	○	○	○
116	教育長の任命について	付託せず		同意	○	○	○	○	○	○	○

議員提出

7	イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交努力による平和解決を求める決議について	付託せず	8.3.18	可決	×	○	×	○	○	○	×
---	--	------	--------	----	---	---	---	---	---	---	---

陳情

100	藤沢市民会館外壁の大規模壁画に関する景観調和の検討を求める陳情	子ども文教	8.2.19	趣旨不了承	×	×	×	×	×	×	-
101	図書館休館に伴う学習場所確保のため、藤沢市役所本庁舎9階第2議会委員会室等の試行的開放を求める陳情	議会運営	8.2.25	結論保留※1						-	-
102	藤沢市自転車等の放置防止に関する条例を改正することを求める陳情	建設経済	8.2.17	趣旨不了承	×	×	×	×	×	-	-
104	フリースクール助成金制度を求める陳情	子ども文教	8.2.19	趣旨了承	○	○	○	○	○	○	-
105	里道払下げは法の比例、平等原則違反。議員関与は明白、百条調査を求める陳情	建設経済	8.2.17	趣旨不了承							
106	マイクロプラごみの定点観測条例をつくり環境先進都市宣言を求める陳情	厚生環境	8.2.18		×	×	×	×	×	-	-
107	藤沢市民病院地域連携診療の実態は過剰診療になっており適正化を求める陳情										
108	公立保育園における延長保育料の臨時利用の金額設定を求める陳情	子ども文教	8.2.19	趣旨了承	○	○	○	○	×	○	-

※1 結論が保留となったため、同委員会で引き続き審査

会派構成

会派…政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成し、活動するグループ

会派名(省略表示)	人数	所属議員
市民クラブ藤沢(市民ク)	11人	代 佐賀 和樹 小池 恵子 石井 世悟 西 智 桜井 直人 町田 輝佳 栗原 貴司 松長由美絵 石川 麻央 山口 政哉 井上 裕介
民主クラブ(民主ク)	8人	代 竹村 雅夫 大矢 徹 柳田 あゆ 安田 景輔 須田 一行 神尾 江里 谷津 英美 安藤 好幸
湘風維新無所属の会(湘維無)	6人	代 甘粕 和彦 佐野 洋 吉松 巳希 西川 誠志 友田 宗也 有賀 正義
藤沢市公明党(公明党)	5人	代 塚本 昌紀 松尾 宏之 今井みきこ 平川 和美 東木 久代
日本共産党藤沢市議会議員団(共産党)	4人	代 柳沢 潤次 土屋 俊則 味村耕太郎 加藤 彩野
アクティブ藤沢(アクテ)	1人	代 原田 建
無所属藤沢(無所属)	1人	代 森井健太郎

(※会派内の氏名は、会派代表者を除き議席番号順。代…会派代表者)

知っていますか？

請願・陳情の制度

請願・陳情は、自分の意思を議会に伝える方法のひとつです。

令和8年6月定例会では、6月1日(月)正午までに提出されたものを審査します。



議会の動き

令和8年2月定例会の会期日程については、2次元コードからご覧ください。



1月23日(金)

藤沢市八ヶ岳野外体験教室を視察

藤沢市立学校が宿泊学習を行うための学校教育施設「藤沢市八ヶ岳野外体験教室」を視察しました。



施設概要や小中学生の学習行程の説明



施設内の設備や修繕箇所などを視察



長後中学校生徒のスキー教室を視察

1月24日(土)

政策提言発表会

関東学院大学法学部の牧瀬ゼミナール生が、カフェトークふじさわ(令和7年11月9日開催)で出た意見を集約し、市議会に対して発表を行いました。



議会での

障がい者バリアフリーの取り組み

議会改革推進会議では、本庁舎9階多目的トイレや議場などについて、車いすユーザーに現地を見ていただき、当事者の視点から指摘をいただきました。

指摘を踏まえ、今後より使いやすい施設になるように、検討していきます。



2月5日(木)

ハラスメントの防止に関する研修

講師に粕谷幸佑氏をお招きし、ハラスメントに対する理解を深めました。



次の定例会は



6月4日(木)～

6月25日(木)

点字と声の議会だより
お届けします

【お問い合わせ】

議会局議事課

TEL 0466-50-3566 (直通)



議会だよりの
感想をお寄せください



分かりやすく、手
に取りやすい紙面
を目指しています。



2次元コードの読み取りに不安がある方は、遠慮なく議会局へお問い合わせください。

【お問い合わせ】 議会局議事課 TEL 0466-50-3566 (直通)